

大阪城

2022

1/20

(木)

14229

号

全巻巻3

西成分會

224

6647-

4947

全国でオミクロンウイルスの感染が3万人を
こえてきて「まん延防止」とか言っている。第6波
だという。またか！またか！……とか。目に見えない
小さな物質相手では、戦いもなかなかたいへん
です。極大の宇宙も、まだ5%ぐらしか、解明
できてないようでは、その真逆の極小の素粒子の
世界も、まだわからないままがいっぱいあるよ！
です。「ミリ」よりも「マイクロ」「ナノ」とかいう極小の
単位の物質たちの性質や法則や動きは、
これからわかってくる世界のようでは、ウイルスは、
今、一番知りたい代表格になっています。

極小のウイルスと極大の宇宙の間に地球があり
人間が社会をつくり住んでいて、政治とか法律だ
とか、オレがえらいんだとか、有名人だとか、金がある子
とかやって動いているわけですが、ウイルスは、そんな
こと関係ないってやってくるのが、今の世界です。
時間の流しというものが、あるのが無しのが別にして
宇宙が生まれ、火の玉の地球が少し冷えて、生命が
生まれ、細胞とかDNA、RNAとか、ウイルスたちが
生まれ、そのあとに、人間様が出てきてるわけでは、その
小さな先輩相手の戦いですから、核戦争よりやっかいな
たたかひになっています。

東京・大阪5000人、全国3万人を超える

第6波
オミクロン
1日感染者

「まん延防止措置」適用地域に13都県を追加 分科会が了承

19日朝に開かれた感染症などの専門家で作る政府の「基本的対処方針分科会」で、山際新型コロナ対策担当大臣は、東京、埼玉、千葉、神奈川、群馬、新潟、愛知、岐阜、三重、香川、長崎、熊本、宮崎の13都県から、まん延防止等重点措置の適用の要請について「感染状況や医療のひっ迫度合いがレベル2の段階と判断され早急に感染拡大を防止する措置を講じる必要がある」と述べ、21日から来月13日まで重点措置を適用する方針を諮りました。このあと、政府は国会に、了承された方針を説明し、質疑が行われました。政府は19日夕方、対策本部を開いて、13都県への重点措置の適用を正式に決定することになっています。これによって、重点措置の適用地域は、今月31日までとなっている沖縄、山口、広島から、16都県に拡大されることになります。

「関西をはじめ各県の状況注視」

松野官房長官は、記者会見で、関西圏への『まん延防止等重点措置』の適用について「現時点で大阪、京都、兵庫の3府県から重点措置の適用の要請はない。都道府県から要請があった場合には、国会の付帯決議を踏まえ速やかに検討を行うこととしている。政府としては、関西をはじめ各県の状況を緊張感を持って注視しつつ、重点措置も含め、必要な対策について都道府県知事と引き続き緊密に連携して対応していきたい」と述べました。 2022-01-19NHKニュース